

○日時 平成28年8月29日（月）13：30～14：40

○場所 島根県松江市 島根県民会館 3階大会議室

○出席者 以下のとおり（委員のみ記載）

米子市長（代理：建設部長）

境港市長

松江市長

安来市長

鳥取県 危機管理局長（代理：危機管理局 副局長）

鳥取県 西部総合事務所米子県土整備局長

島根県 防災部長（代理：防災部 次長）

島根県 松江県土整備事務所長

気象庁 松江地方气象台長

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長

○挨拶 出雲河川事務所長

○議事

（1）幹事会の報告について

（2）「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」について

（3）その他

○「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針（案）」について、委員の賛同を頂いた。

【松江市長、境港市長】

中海においては、想定最大規模の洪水と高潮が同時に発生することを想定しておくべきではないか。

【出雲河川事務所】

国土交通省本省で高潮浸水想定のお考え方を検討した際には、主に太平洋側の実績を踏まえ、最大規模の洪水と最大規模の高潮が同時に生起し、ピークが重なり合うことは考慮しないこととしている。中海においては、この基本的な考え方を考慮しつつ、中海の特性を踏まえて検討していきたい。

【安来市長】

想定最大規模の洪水に対してもハード整備を進めるべきではないか。

【出雲河川事務所】

現在、河川整備計画に基づくハード整備を行っている段階である。今回の取組方針においては、整備計画に位置づけているハード対策を着実に進めるとともに、ソフト対策も組み合わせて取り組んでいくものである。

【米子市長（代理）】

想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図では、農地の浸水範囲が大きくなっているため塩害の心配があるが、塩分濃度については想定しているのか。

【出雲河川事務所】

洪水浸水想定区域図の検討において、塩分濃度までは考慮していない。

【鳥取県 危機管理局長（代理）】

フォローアップに関する記載にもあるとおり、協議会全体で連携して減災対策を推進することが重要である。また、公助だけではなく、自助・共助が減災にとって大切であり、住民や水防団などの意見も十分に踏まえて、今後の取り組みに反映させるべきである。

【出雲河川事務所】

減災対策については、協議会全体で連携して取り組み、全国の他河川で作成される取組方針の内容なども踏まえながらフォローアップを行い、適宜、取組方針を見直していきたい。